

## 第41回全日本アンサンブルコンテストに 同窓会東京支部の皆さんが駆けつけてくれました!!

神奈川県横須賀の『よこすか芸術劇場』で3月21日（水）に行われた第41回全日本アンサンブルコンテストに遺愛吹奏楽局から、クラリネット8重奏が全道大会を勝ち抜き出場しました。

当日の横須賀は寒く、雪に見舞われ大変だったにも関わらず、同窓会東京支部から12名の方々が応援に来てくださいました。

とても嬉しかったのは、遺愛学院の元理事長〈在任1987-1995〉でした阿部志郎先生も駆けつけて下さったことです。90歳を越えているにもかかわらずお元気で、9時から11時過ぎまで高校の演奏をすべてお聴きになり、演奏を終了した遺愛の生徒たちに、ねぎらいの声をかけて下さいました。（なお阿部先生のお父様である阿部義宗先生も〈1939-1941、1951-1975〉遺愛学院理事長を務めていました。）

高等学校の部に参加した全国の代表22校中9番目に出場した遺愛は繊細で美しく、包み込むような柔らかい演奏をしました。結果は惜しくも『銀』でしたが、初出場なのでとても立派な成績です。私の隣に座っていた見ず知らずの中学生の男子が2人、遺愛演奏後しみじみと「うまいなあ！」と言っているのが聞こえてきました。

全国大会を聴いて、22校のほとんどが、女子が中心で、伊奈学園が唯一男子5人・女子3人の構成で男子が女子を人数で上回った



学校でした。共学校でも女子だけの構成、あるいは男子は1～2人しかいないという学校がほとんどでした。それにも関わらず、全国トップレベルの学校の音量は凄く、表現力も抜群でした。遺愛ももうすぐです。

2018年3月22日（木）